

博士論文内容の要旨及び博士論文審査結果の要旨

氏名(生年月日)	岡本 宣雄	(****年**月**日)
本 籍	*****	
学位(専攻分野)	博士(医療福祉学)	
学位授与番号	乙第28号	
学位授与日付	平成29年3月14日	
学位授与の要件	学位規程第3条第4項該当	
論 文 題 目	介護福祉サービスを利用する高齢者の日常的スピリチュアリティに関する研究ー語りの分析を通して支援の課題を問うー	
審 査 委 員	教授 長崎 和則	教授 窪寺 俊之(聖学院大学)
	教授 熊谷 忠和	教授 飯田 淳子
	教授 竹田 恵子	

博士論文内容の要旨

本研究は、介護を利用する高齢者のケアの質の向上のために、近年求められるように言われているスピリチュアリティのあり方を明らかにしたものである。これまでのスピリチュアリティに関する研究を踏まえ、スピリチュアリティの概念モデルを整理し、「関係」「時間」「自律」を意味探求の視点で考察した。また、これまで危機としてのスピリチュアルペインへの対応として捉えられていたスピリチュアルケアを、「日常的スピリチュアリティ」への対応としてとらえ直している。

「日常的スピリチュアリティ」の種類や内容については、質的調査を行い、抽出された6つのカテゴリーによる新たな理論的枠組(説明図式・理論:「時間」×「関係」×「価値」)を提示した。そして、カテゴリー「ただ平凡に人間らしく生きたい」などの高齢者の生活の質を高めるための「日常的スピリチュアリティ」を理解した支援が必要であることを示した、実践につながる論文である。

博士論文審査結果の要旨

平成29年1月18日及び1月25日に博士論文審査委員会を行った。本論文は、スピリチュアルケアに関する先行研究を踏まえ、スピリチュアリティを新たな理論的枠組みで捉えた意欲的な論文である。

村田理論の「時間」「関係」「自律」を批判的に検討し、「自律」を「価値」という新たな視点でとらえ直している。また、これまではスピリチュアルペインという危機状態に着目し、その対応としてのスピリチュアルケアという捉えかたであったが、本研究ではスピリチュアリティを日常性という視点で捉えている。高齢者の生きる意味探求として重視し、介護福祉サービスを利用する高齢者を対象とした質的研究により、「日常的スピリチュアリティ」の重要性だけでなく、その内容を整理していることは高く評価できる。

さらに、「日常的スピリチュアリティ」への対応として、福祉領域での予防的な視点を入れ込んだ予防モデルのスピリチュアルケアの可能性、スピリチュアルサポートの方法を取り上げ考察している。